

2021年度 上期決算

投資家様向け説明資料



2021年10月28日
オムロン株式会社

発表のポイント

■ 2021年度 上期実績

- ・サプライチェーンの混乱やロックダウンに対して変化対応力を発揮し、大幅増収増益。
- ・制御機器事業を中心に、グローバルに需要の拡大を捉え、全事業が社内計画を上回る。
- ・売上総利益率・営業利益額・営業利益率は過去最高を更新。

■ 2021年度 通期見通し

- ・好調な経済環境は継続。サプライチェーンの影響を織り込み、通期見通しを上方修正。
- ・活発な設備投資が継続する制御機器事業は、全エリアで売上拡大を見込む。
- ・下期もさらに変化対応力を発揮し、過去最高の業績を見通す。

■ 株主還元の強化

- ・年間配当予想を92円に増額修正する。
- ・さらに、新たに300億円の自己株式取得の枠を設定する。

■ 新たな成長ステージに向けて

- ・今期は次期長期ビジョンに向けて、スタートダッシュをかける重要な1年。
- ・コト視点のビジネスモデルへの進化が既に成果として表出し始めている。

目次

1. 2021年度 上期実績	P.	3
-----------------------	----	---

2. 2021年度 通期見通し	P.	12
------------------------	----	----

3. 株主還元強化	P.	20
------------------	----	----

4. 新たな成長ステージに向けて	P.	23
-------------------------	----	----

-参考資料-	P.	32
---------------	----	----



2021年度 上期実績



2021年度 上期実績

大幅増収増益。過去最高の売上総利益率、営業利益額、営業利益率を達成。

(億円)

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	前年同期比
売上高	3,013	3,694	+22.6%
売上総利益 (売上総利益率)	1,364 (45.3%)	1,706 (46.2%)	+25.1% (+0.9P)
営業利益 (営業利益率)	247 (8.2%)	457 (12.4%)	+85.0% (+4.2P)
当期純利益	192	325	+69.5%
米ドル 平均レート (円)	106.9	109.9	+3.0
ユーロ 平均レート (円)	120.9	131.1	+10.1
人民元 平均レート (円)	15.2	17.0	+1.8

セグメント別 売上高

制御機器事業、電子部品事業はグローバルの需要を捉えた。
ヘルスケア事業は引き続き血压計が好調。

(億円)

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	前年同期比
制御機器事業 (IAB)	1,649	2,134	+29.4%
電子部品事業 (EMC)	388	516	+32.9%
社会システム事業 (SSB)	374	350	△6.4%
ヘルスケア事業 (HCB)	575	677	+17.7%
本社他 (消去調整含む)	26	16	△37.3%
合計	3,013	3,694	+22.6%

制御機器事業（IAB）エリア別 売上高成長率

中華圏はデジタル業界を中心に好調し、欧州は食品、医薬品で回復。
全てのエリアで前年から大幅増収。

2021年度 上期 制御機器事業 エリア別 売上高成長率 (前年同期比、現地通貨ベース)

日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	
				韓国以外	韓国のみ
+20%	+23%	+31%	+27%	+16%	+12%

制御機器事業（IAB）成長を牽引したドライバー

特に投資が増えている高成長領域で売上拡大を実現。

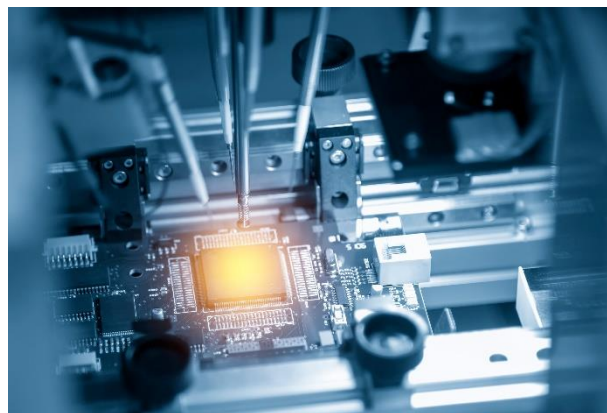
2021年度 上期 高成長領域における売上高成長率 +39%

自動車



EV

デジタル



半導体/二次電池

食品・日用品・医薬品



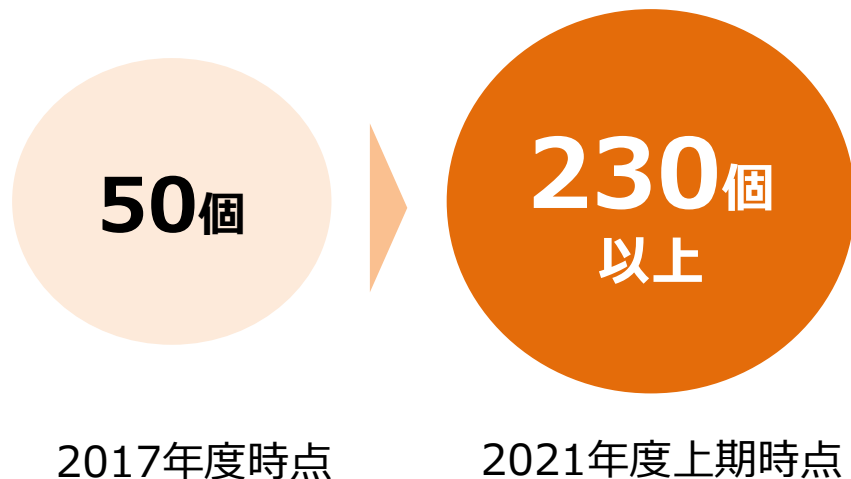
包装機械

制御機器事業（IAB）成長を牽引したドライバー

顧客との共創によって作り上げてきた革新アプリケーションの採用が顧客の量産化ステージに進んだことで、大幅売上拡大。

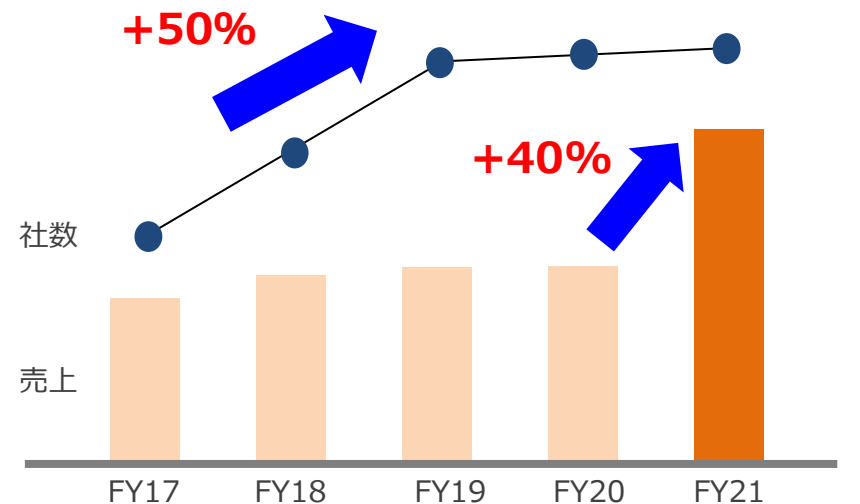
アプリケーション資産

革新アプリケーションの数



高機能PLC採用社数と採用顧客における売上の推移

FY17-19 採用社数増
FY20-21 量産化・売上拡大



*社数・売上ともに上期時点データ

セグメント別 営業利益

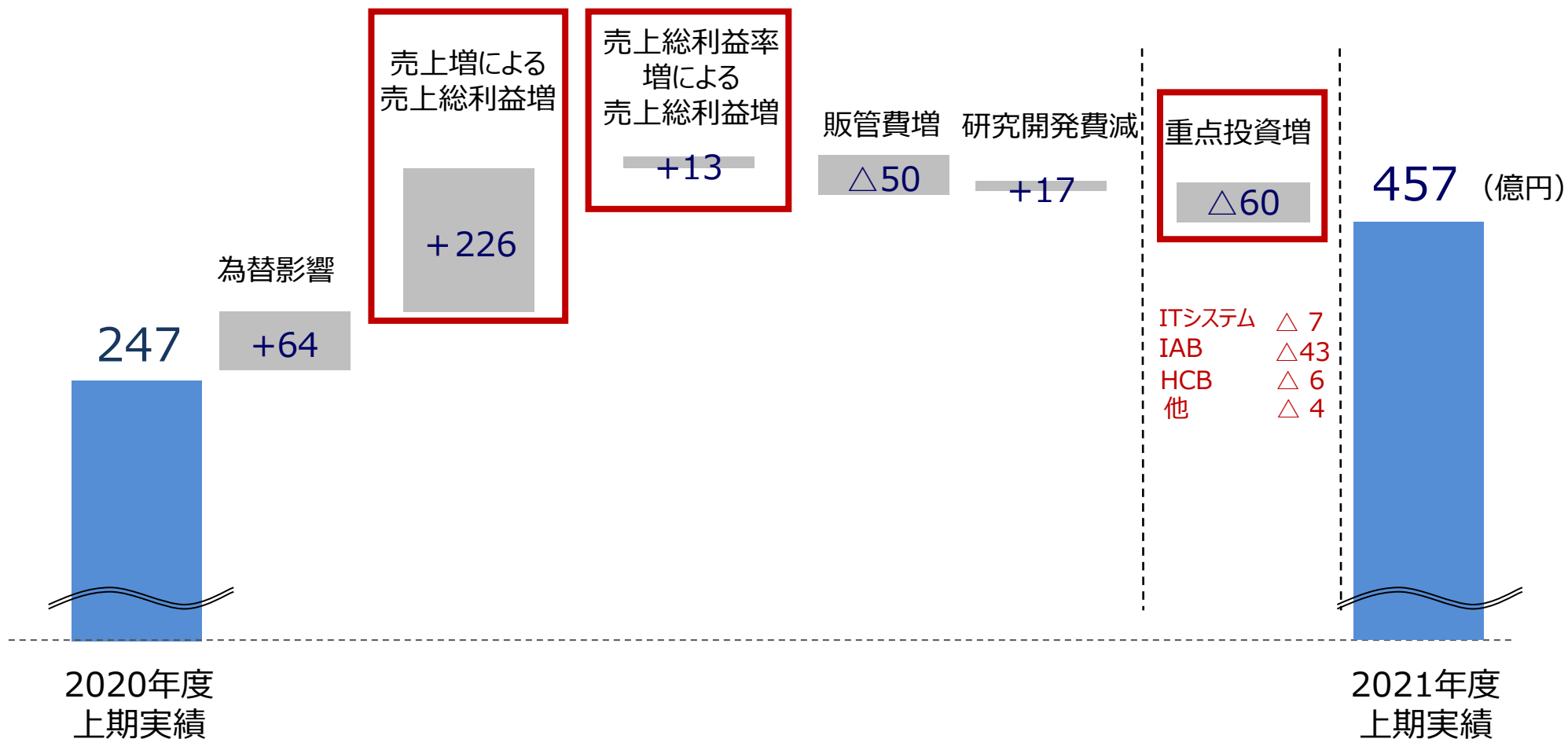
制御機器事業、電子部品事業、ヘルスケア事業は大幅増益を達成。

(億円、%：営業利益率)

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	前年同期差
制御機器事業 (I A B)	264 (16.0%)	409 (19.2%)	+146 (+3.2P)
電子部品事業 (E M C)	3 (0.8%)	40 (7.7%)	+36 (+6.8P)
社会システム事業 (S S B)	△ 12 (-)	△ 14 (-)	△ 3 (-)
ヘルスケア事業 (H C B)	106 (18.5%)	121 (17.9%)	+15 (△0.6P)
本社他 (消去調整含む)	△ 114	△ 98	+16
合計	247 (8.2%)	457 (12.4%)	+210 (+4.2P)

営業利益増減（前年同期差）

収益力を高めた上で売上成長を実現し、売上総利益額が大幅に増加。



サプライチェーン・生産における変化対応力の発揮

**部材不足や素材・物流費の高騰には継続的に対応。影響を最小限に。
マレーシア・ベトナムでのロックダウンなどによる供給力の一時的な低下も、すでに回復。**

	起こったこと	対応
半導体・樹脂不足	計画を上回る需要増に対して 調達遅延が発生	影響が大きい部品を使った商品の 設計変更は概ね完了し、 部品調達可能に
素材(銀・銅)高騰	・銀価格は前提並みの水準に低下 ・銅価格は前提に対して高騰	売価の適正化や 省材化技術の開発を実行
生産	・制御機器事業で一部の商品に おいて生産キャパシティが不足 ・ロックダウンにより、マレーシア工場、 インドネシア工場、ベトナム工場の 生産稼働率が一時的に低下	・制御機器事業では生産キャパシティの 増強投資を実行 ・3工場は10月末時点でフル稼働
物流費高騰	コンテナ価格増や航空便 利用増などで費用水準が上昇	航空便と船便のバランスを見直し、 物流費を適正化



2021年度 通期見通し



下期 事業セグメント別 事業環境認識

サプライチェーンの影響は継続するものの、引き続きグローバル経済は堅調。

制御機器事業
(IAB)

自動車： EV関連投資が引き続き拡大。

デジタル： 世界的な半導体投資や二次電池需要拡大を中心に、引き続き好調。

食品・日用品： ワクチン普及に伴うベース回復に加え、環境関連投資により堅調継続。

社会インフラ： 太陽光発電など材料高の影響で調整局面が継続。

電子部品事業
(EMC)

民生： 米州、中国を中心に回復基調継続。

車載： グローバルで緩やかな回復基調継続。

社会システム事業
(SSB)

鉄道： 投資抑制の動きがさらに拡大。

交通： 堅調な更新需要が継続。

エネルギー： コロナ影響からの緩やかな回復基調継続。

ヘルスケア事業
(HCB)

血圧計： オンライン販売を含め、グローバルで引き続き好調。

その他： ネブライザは中国・アジア市場、低周波治療器は日本市場で回復基調継続。

2021年度 通期見通し

好調な経済環境の継続を見込み、通期見通しを上方修正する。

	2021年度 前回見通し	2021年度 今回見通し	前回見通し比・差	2020年度 実績	前年度比・差 (億円)
売上高	7,000	7,800	+11.4%	6,555	+19.0%
売上総利益 (売上総利益率)	3,250 (46.4%)	3,610 (46.3%)	+11.1% (△0.1P)	2,984 (45.5%)	+21.0% (+0.8P)
営業利益 (営業利益率)	700 (10.0%)	980 (12.6%)	+40.0% (+2.6P)	625 (9.5%)	+56.9% (+3.0P)
当期純利益	480	655	+36.5%	433	+51.2%
米ドル 平均レート (円)	108.0	108.9	+0.9	105.8	+3.1
ユーロ 平均レート (円)	128.0	129.5	+1.5	123.2	+6.4
人民元 平均レート (円)	16.5	16.7	+0.2	15.5	+1.2

2021年度 セグメント別 売上高

制御機器事業とヘルスケア事業は過去最高の売上を見通す。

(億円)

	2021年度 前回見通し	2021年度 今回見通し	前回見通し比	2020年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	3,750	4,430	+18.1%	3,464	+27.9%
電子部品事業 (EMC)	940	1,030	+9.6%	860	+19.7%
社会システム事業 (SSB)	960	920	△4.2%	957	△3.8%
ヘルスケア事業 (HCB)	1,330	1,400	+5.3%	1,231	+13.7%
本社他 (消去調整含む)	20	20	-	43	△53.5%
合計	7,000	7,800	+11.4%	6,555	+19.0%

下期 制御機器事業（IAB）エリア別 事業環境認識

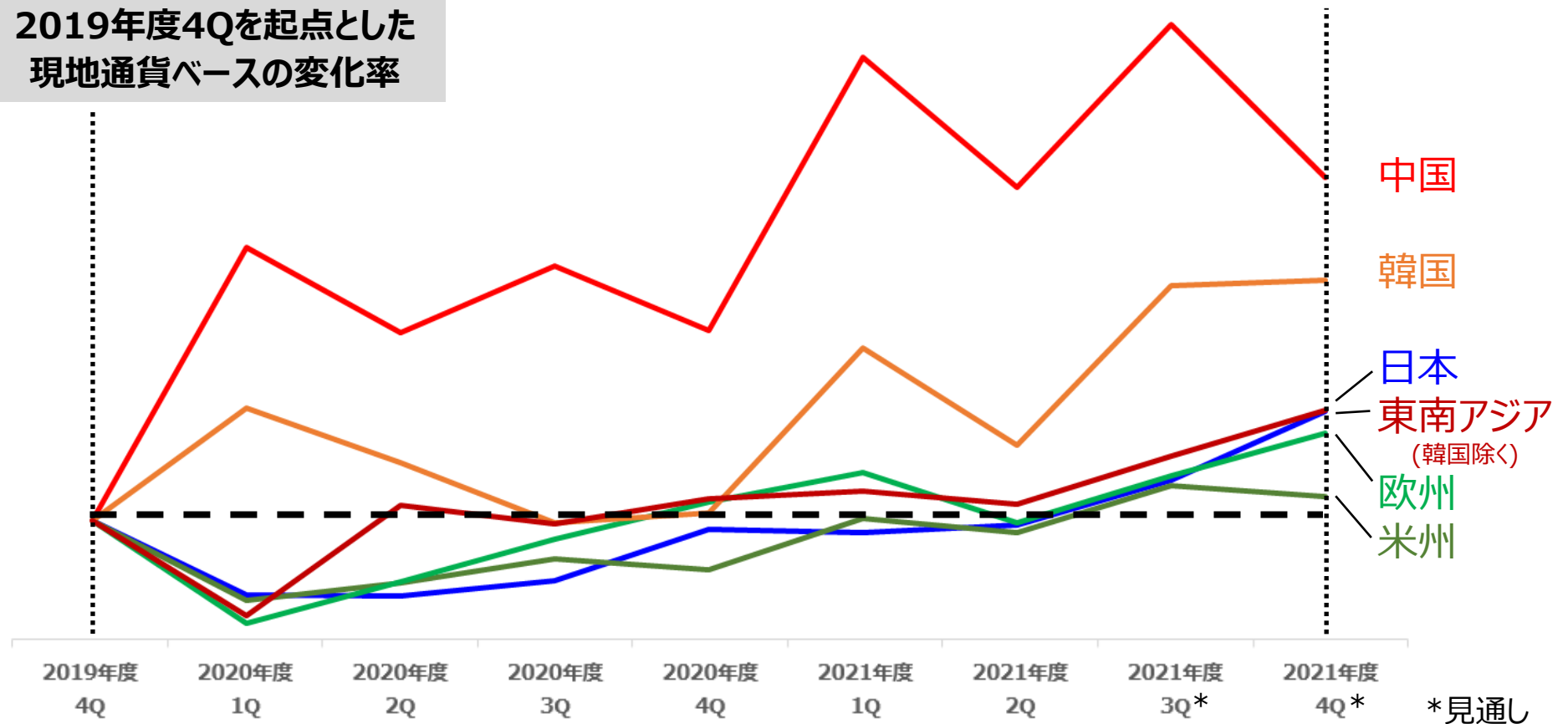
デジタル業界を中心に堅調な需要は継続する見通し。

制御機器事業 (IAB)	日本	<p>経済活動の段階的な正常化で回復傾向が継続</p> <p>デジタル：半導体製造装置や5G向け電子部品需要が高位継続</p> <p>自動車：EV向けを中心に部品メーカーの投資回復基調継続</p>
	米州	<p>緩やかな回復基調が継続</p> <p>デジタル：半導体製造装置の需要が高位継続</p> <p>自動車：EV向けは堅調の一方、生産調整影響等で投資が一時的に停滞</p>
	欧州	<p>ワクチン接種の浸透と復興基金による経済安定化</p> <p>食品・日用品：欧州内・中国向け食品包装機需要拡大継続</p> <p>自動車：環境規制強化を受けたEV関連投資が本格化</p>
	中華圏	<p>電力不足等の設備投資への影響は軽微で底堅く推移</p> <p>デジタル：半導体、二次電池を中心に高水準な投資が続く</p> <p>自動車：市場拡大を見据えたEVを中心とした新車投資拡大</p>
	東南アジア	<p>回復傾向が続くが、感染再拡大の不透明感が残る</p> <p>デジタル：半導体関連投資が高位横ばいで推移</p> <p>食品・日用品：：ロックダウンにより停滞していた設備投資を本格再開</p>

制御機器事業（IAB）エリアごとの四半期別売上高推移イメージ

コロナ影響から回復し、売上は拡大基調。下期は全てのエリアで売上拡大を見込む。

2019年度4Qを起点とした
現地通貨ベースの変化率



*見通し

2021年度 セグメント別 営業利益

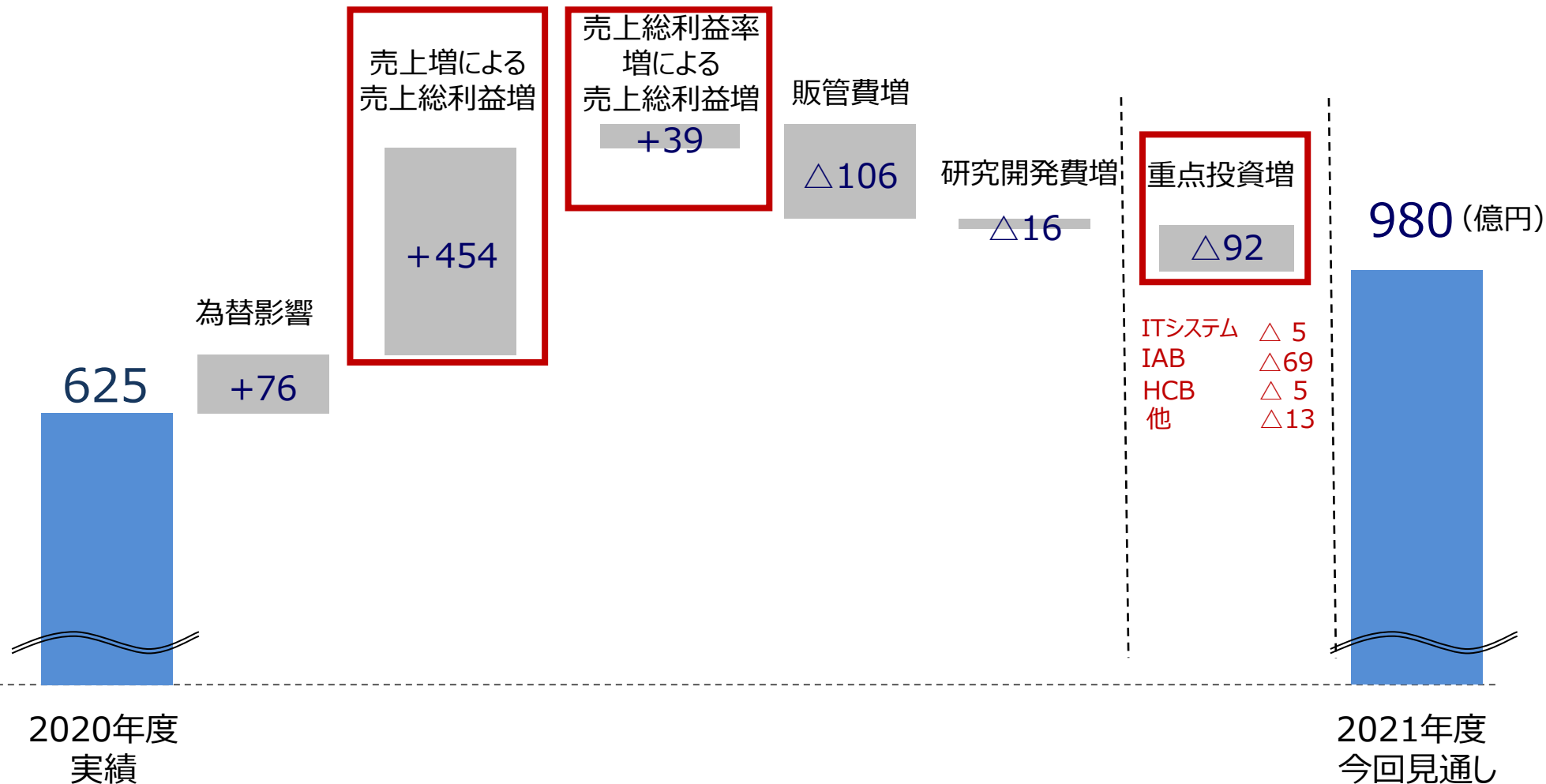
制御機器事業とヘルスケア事業は過去最高の営業利益を見通す。

(億円、%：営業利益率)

	2021年度 前回見通し	2021年度 今回見通し	前回見通し差	2020年度 実績	前年度差
制御機器事業 (IAB)	630 (16.8%)	870 (19.6%)	+240 (+2.8P)	588 (17.0%)	+282 (+2.7P)
電子部品事業 (EMC)	45 (4.8%)	75 (7.3%)	+30 (+2.5P)	30 (3.4%)	+45 (+3.8P)
社会システム事業 (SSB)	70 (7.3%)	70 (7.6%)	±0 (+0.3P)	57 (6.0%)	+13 (+1.7P)
ヘルスケア事業 (HCB)	225 (16.9%)	225 (16.1%)	±0 (△0.8P)	206 (16.7%)	+19 (△0.6P)
本社他 (消去調整含む)	△ 270	△ 260	+10	△ 255	△ 5
合計	700 (10.0%)	980 (12.6%)	+280 (+2.6P)	625 (9.5%)	+355 (+3.0P)

営業利益増減（前年度差）

部材不足などのマイナス影響を織り込みつつ、大幅増益を見込む。
重点投資は計画通り実行する。

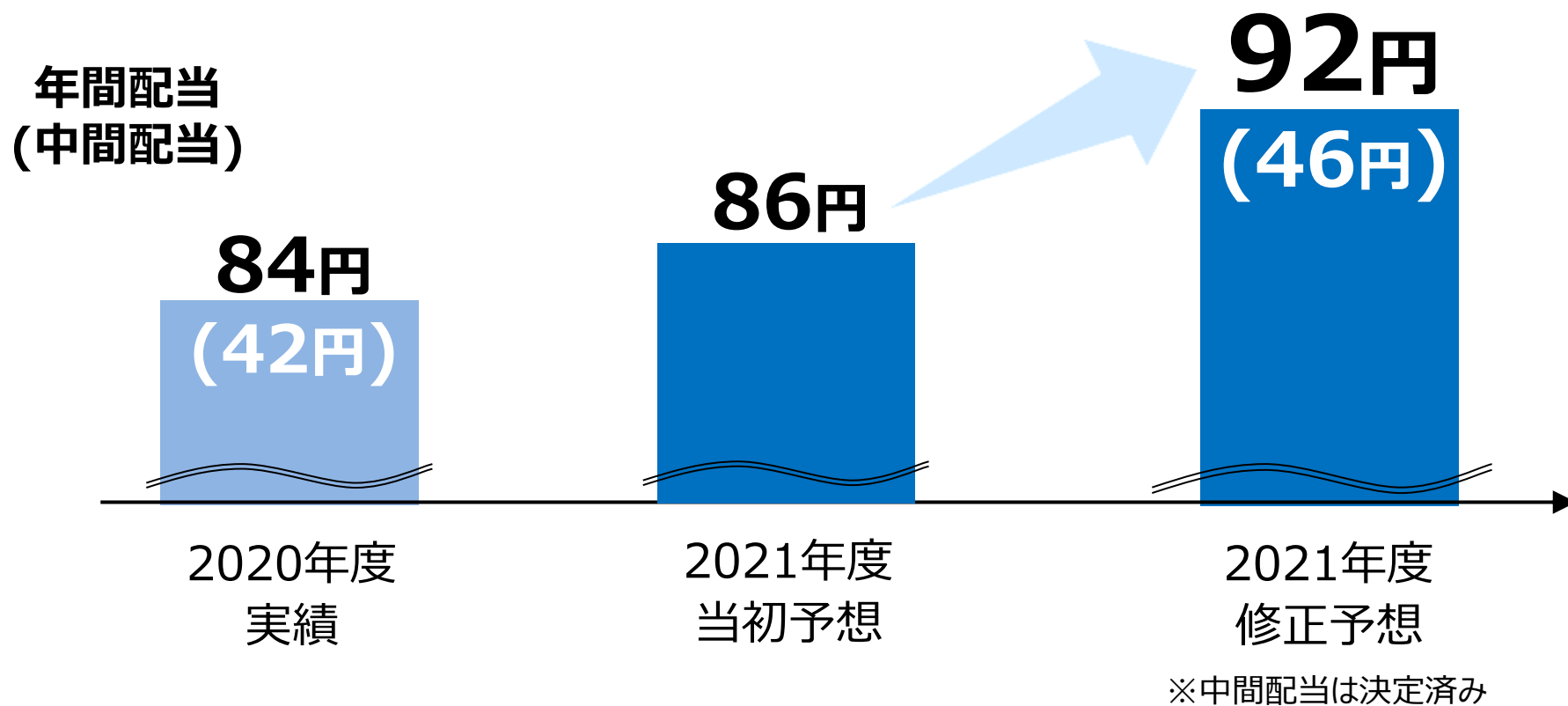




株主還元強化

配当の増額

年間配当額予想は92円に引き上げる。20年度実績から8円増配。
中間配当は46円に決定し、期末配当予想も46円とする。



自己株式取得

新たに300億円の自己株式の取得枠を設定。今後も資本効率を重視した経営を継続。

自己株式取得

金額 : 300億円 (上限)
株式数 : 330万株 (上限)
取得期間 : 2021年10月29日
~2022年4月28日

過去4年間の自己株式取得枠金額 : 総額600億円
(17年度200億円 18年度200億円 19年度200億円)



新たな成長 ステージに向けて

製造現場の高度化：テックマン社との提携関係の強化

協調ロボットの世界シェア第2位であるテックマン社(広達電脳(クアンタ)グループ)へ出資し、提携関係を強化。

テックマン・ロボット社



製造現場の高度化：これまでに獲得した主な資産

M&Aやアライアンスの活用や、積極投資によって革新的な製品を創出してきた。

ソフトウェア

Input

17年センテック社
マイクロスキャン社
買収



Logic

20年ロボット統合
コントローラ発売



Output

15年デルタ・タウ社
買収



Robot

15年アデプト社
買収



Safety

テックマン社
18年アライアンス開始
21年アライアンス強化



オートメーションセンタ37拠点 ILOR + Sを活用し顧客との共創を加速

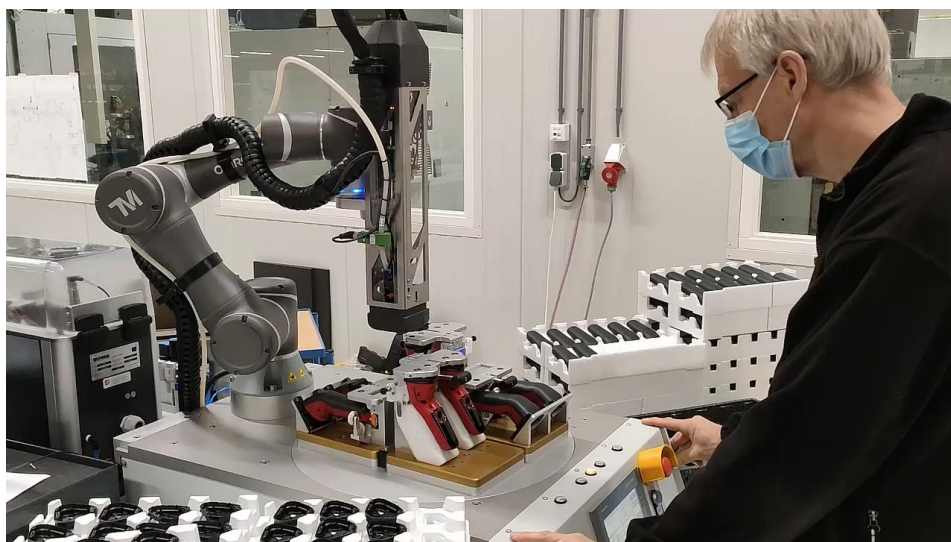
製造現場の高度化：テックマン社との提携関係の強化

ソリューションのさらなる進化を目指して、テックマン社と次世代型協調ロボットの共同開発を進めていく。

協調ロボットの採用事例

大手メーカーのシェーバーネジ締め工程

提供価値：ヒトとロボットの安全な
協調作業と品質向上を実現



さらなるソリューションの進化

オムロン

ロボット統合
コントローラを活用した
ソリューション力

テックマン・ロボット社

協調ロボットの
開発技術

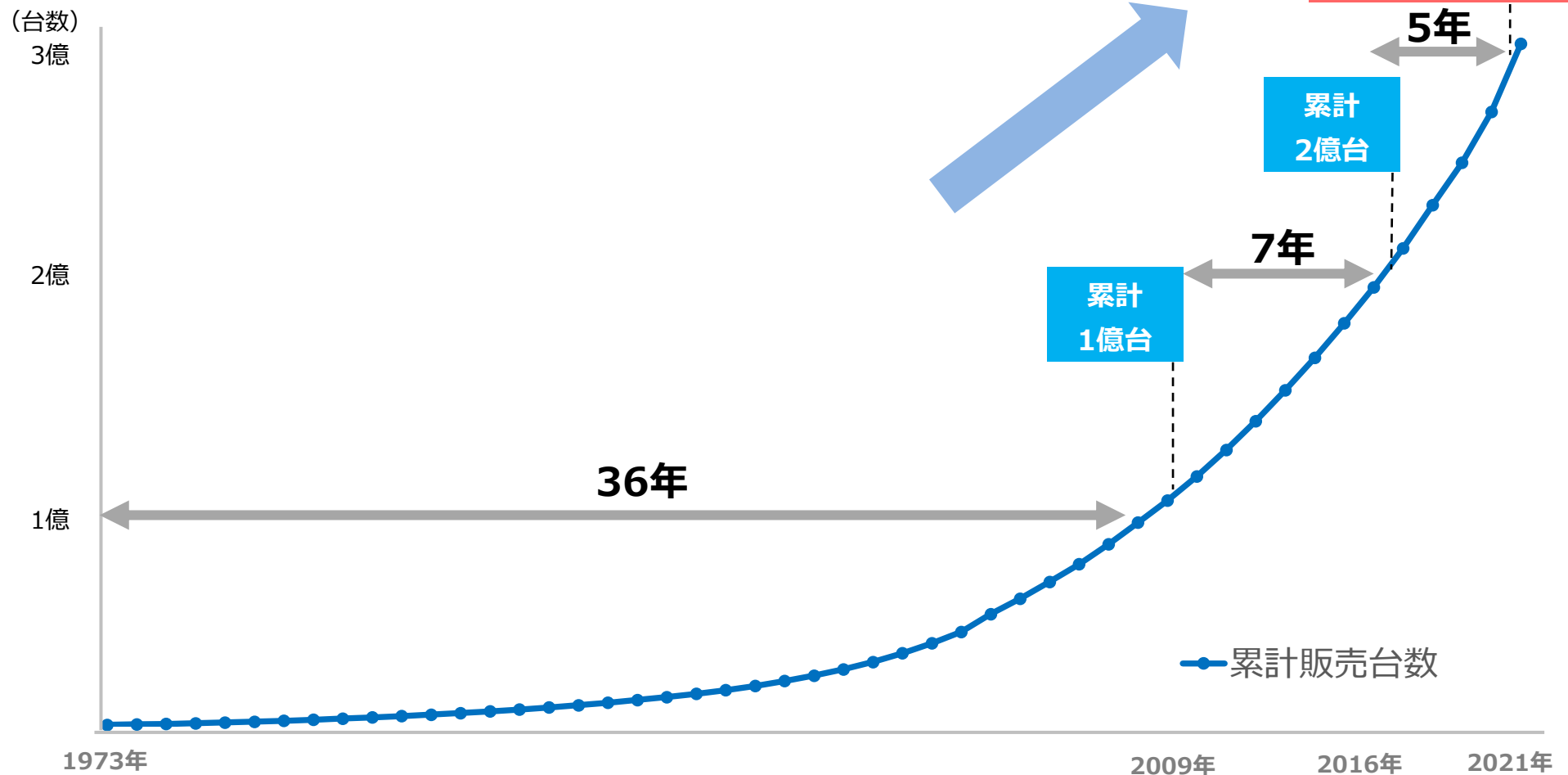


次世代型の協調ロボットの共同開発

統合コントローラによる協調ロボットとの
同期制御や高速動作の実現によって
製造現場の高度化に貢献

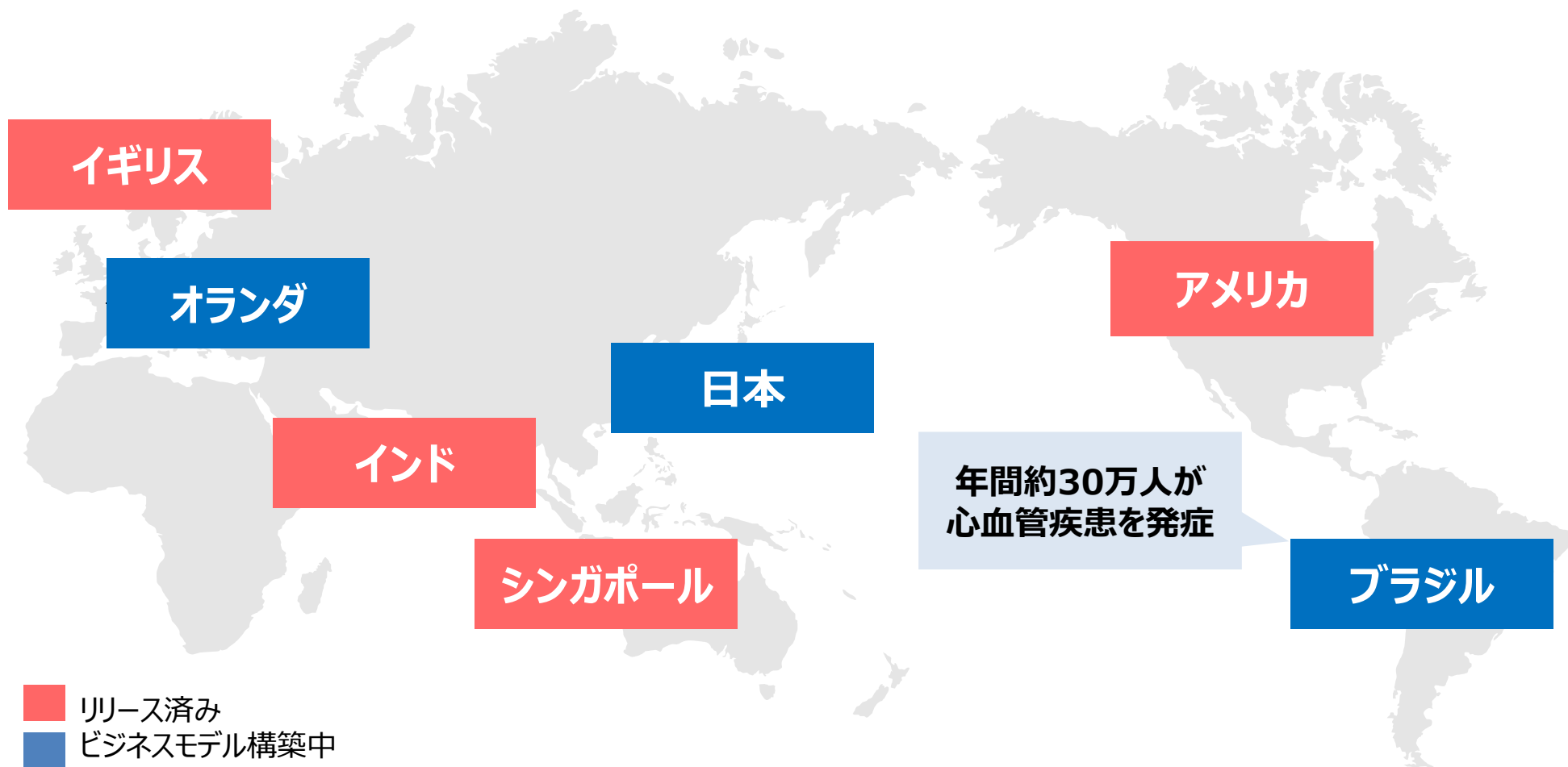
予防医療支援 血圧計の累計販売台数推移

グローバル110カ国以上で展開する血圧計の販売台数は、累計3億台を突破。
販売台数の伸びは急加速している。



予防医療支援 遠隔診療サービスのグローバル拡大

グローバルNo1血圧計メーカーの強みを発揮し、遠隔診療サービスを展開。
イベントの発生が多い国から優先して取り組み、4カ国に展開中。



予防医療支援 遠隔診療サービスのグローバル拡大

遠隔診療サービスのグローバル拡大に向け、ブラジルのマイクロメド社に出資。
心電データを用いた遠隔診療サービスに参入する。

マイクロメド社

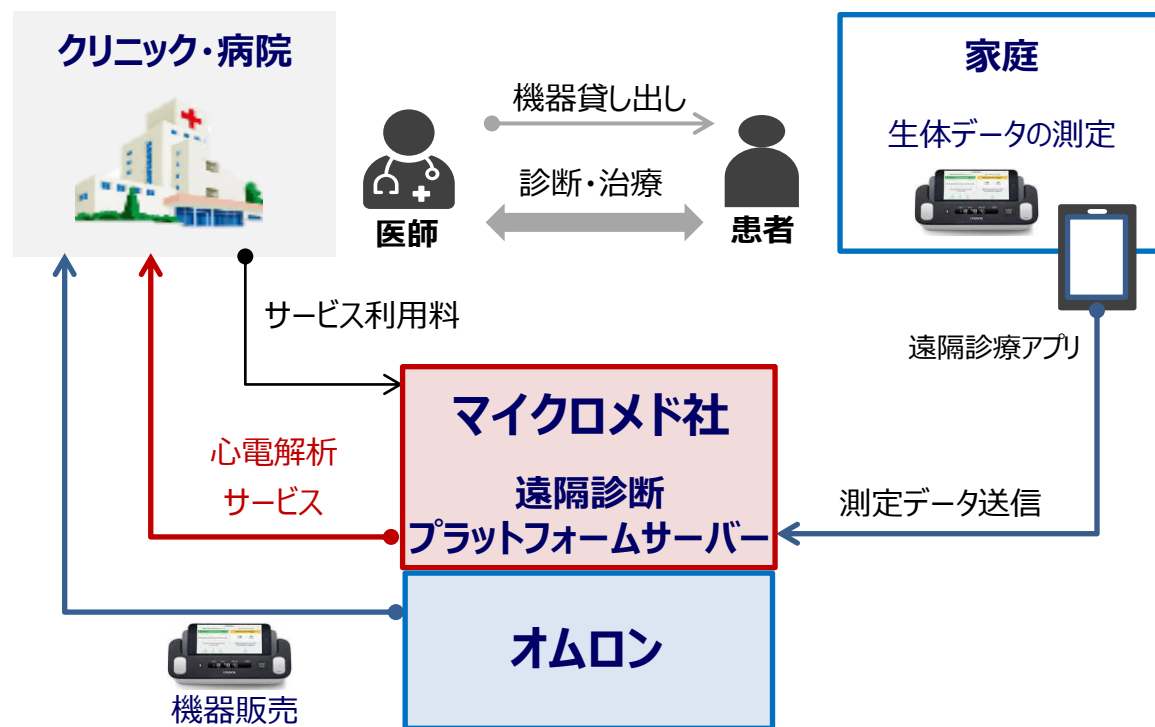
<事業概要>

医療機関向け心電計の製造・販売
心電解析プラットフォームの提供

<強み>

心電解析における高いノウハウ
病院や医療関係者とのネットワーク

マイクロメド社と実施する遠隔診療サービス



— マイクロメド社の提供するサービス

— オムロンの提供するサービス

次期長期ビジョンで捉える成長機会とビジネスモデル進化

次期長期ビジョンでは、4つの成長機会を捉え、付加価値の継続的拡大に向けてビジネスモデル進化にチャレンジする。

次期長期ビジョン

オムロンが捉える成長機会

製造現場の 高度化



1次・3次産業の 自動化



予防医療支援



エネルギー ソリューション



ビジネスモデル進化

モノ

- ・ 強いハードウェア
- ・ 顧客へのインストールベース

サービス



パートナーとの共創

OMRON



參考資料

株主還元方針

利益配分の優先順位は、①将来の成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の成長に に向けた投資

FA、ヘルスケアを中心に、成長投資(M&A)、研究開発費、設備投資に振り向ける

配当

年間配当は配当性向30%程度、DOE3%程度を目安として決定する

自己株式取得

長期にわたり留保された余剰資金は、機動的に自己株式の取得を実施

連結貸借対照表

(億円)

	2021年3月末	2021年9月末	前年度末差
流動資産	5,144	5,451	+307
(現金及び現金同等物)	(2,508)	(2,740)	(+232)
(たな卸資産)	(1,033)	(1,150)	(+118)
有形固定資産	1,130	1,119	△12
投資その他の資産	1,929	1,911	△18
資産の部合計	8,204	8,481	+277
流動負債	1,614	1,612	△2
固定負債	497	469	△28
負債の部合計	2,110	2,081	△30
株主資本	6,069	6,377	+309
非支配持分	25	23	△2
純資産の部合計	6,094	6,401	+307
負債及び純資産合計	8,204	8,481	+277
株主資本比率	74.0%	75.2%	+1.2P

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	前年同期差
営業活動によるキャッシュ・フロー (営業CF)	457	393	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー (投資CF)	△100	△124	△24
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	357	268	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー (財務CF)	△120	△104	+16
期末の現金残高	2,091	2,740	+649
設備投資	83	118	+35
減価償却費	115	115	△0

2021年度 為替前提

	2021年度 下期為替前提	1円変動による影響額（通期） *人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	108円	約17億円	約2億円
ユーロ	128円	約9億円	約4億円
人民元	16.5円	約8億円	約2億円

※ 新興国通貨などが、主要通貨に想定通り連動しなかった場合、感応度に影響を与えます。

主要ESGインデックスへの組み入れ (2021年10月現在)

<オムロンが選定されているESGインデックス>

- ✓ DJSI – World **4年連続選定**
- ✓ FTSE4Good Index Series **6年連続選定**
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes **7年連続選定**
- ✓ MSCI SRI Indexes **5年連続選定**
- ✓ STOXX Global ESG Leaders Indices **5年連続選定**
- ✓ FTSE Blossom Japan Index **5年連続選定**
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 **5年連続選定**
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数 **5年連続選定**
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 **4年連続選定**

*オムロンでは、CDP気候変動・水に関する調査を含むESG評価機関による調査など、多くの外部からの調査に協力し、情報を開示しています。
2020年度評価：気候変動「A-」、水セキュリティ「A-」

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good

2021 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

STOXX

Member 2020/2021
**ESG Leaders
Indices**

**2021 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX**

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



FTSE Blossom
Japan

**2021 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)**

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES

社外からの評価 (2021年10月現在)

<ESG関連表彰・銘柄選定>

S&Pグローバル社選定

- ✓ S&P サステナビリティアワード ゴールドクラス **初選定**

Sustainability Award
Gold Class 2021

S&P Global

一般社団法人 日本取締役協会 主催

- ✓ コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー2018 経済産業大臣賞 **2018年度受賞**



環境省 主催

- ✓ 平成30年度 地球温暖化防止活動大臣表彰 「対策活動実践・普及部門」を受賞 **2018年度受賞**



日本経済新聞社 主催

- ✓ 日経SDGs経営大賞 「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞 **2019年12月受賞**

経済産業省・東京証券取引所 選定

- ✓ 企業価値向上表彰 大賞
- ✓ なでしこ銘柄
- ✓ 健康経営銘柄
- ✓ 健康経営優良法人～ホワイト500～

2014年度受賞

2017年度より4年連続選定

2018年度より3年連続選定

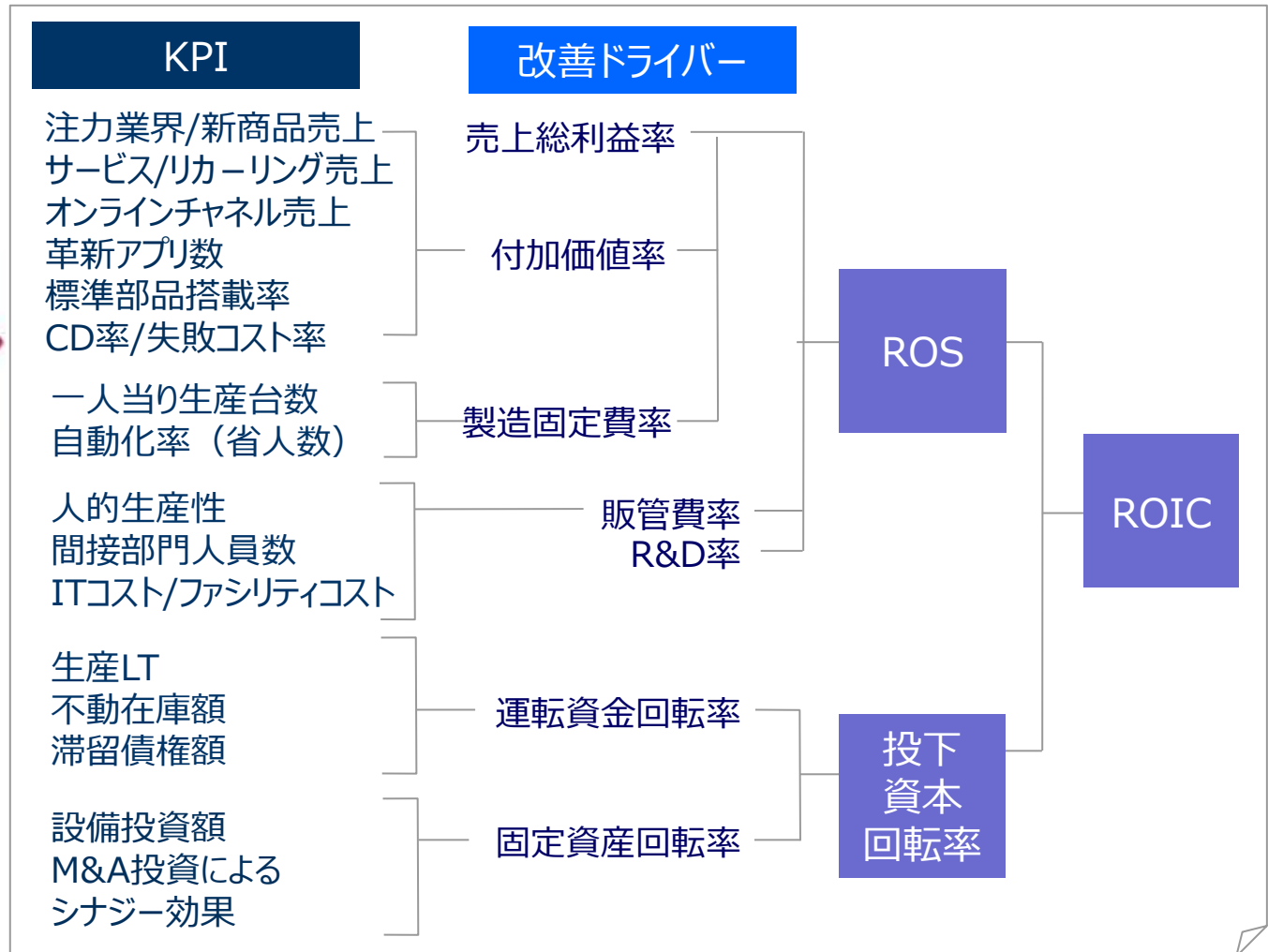
2016年度より5年連続選定



日本経済新聞社 選定

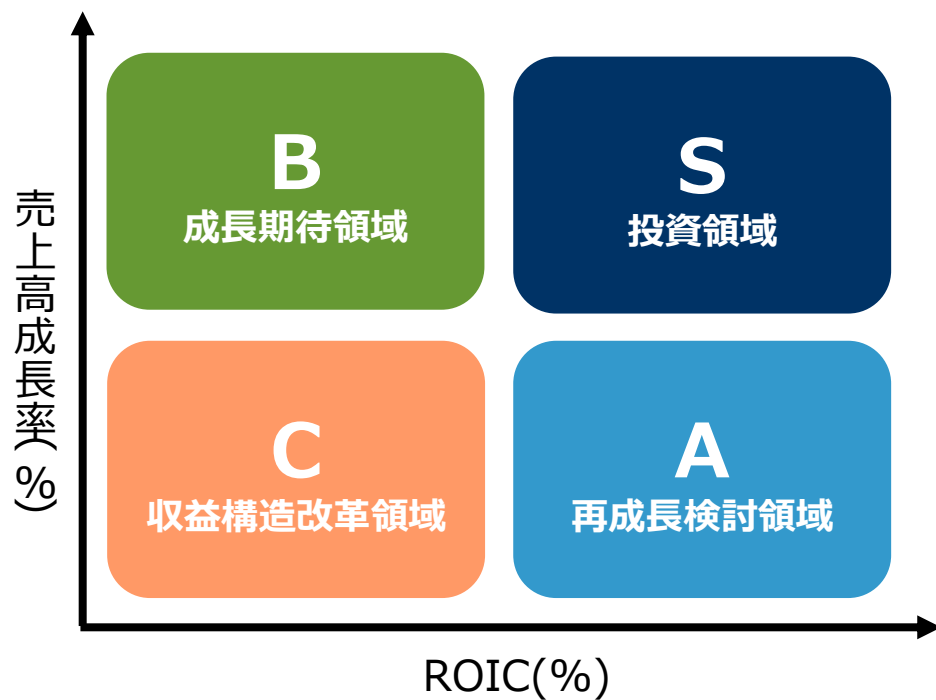
- ✓ 日経225 **2019年3月 初選定**

ROIC逆ツリー展開 (2.0)

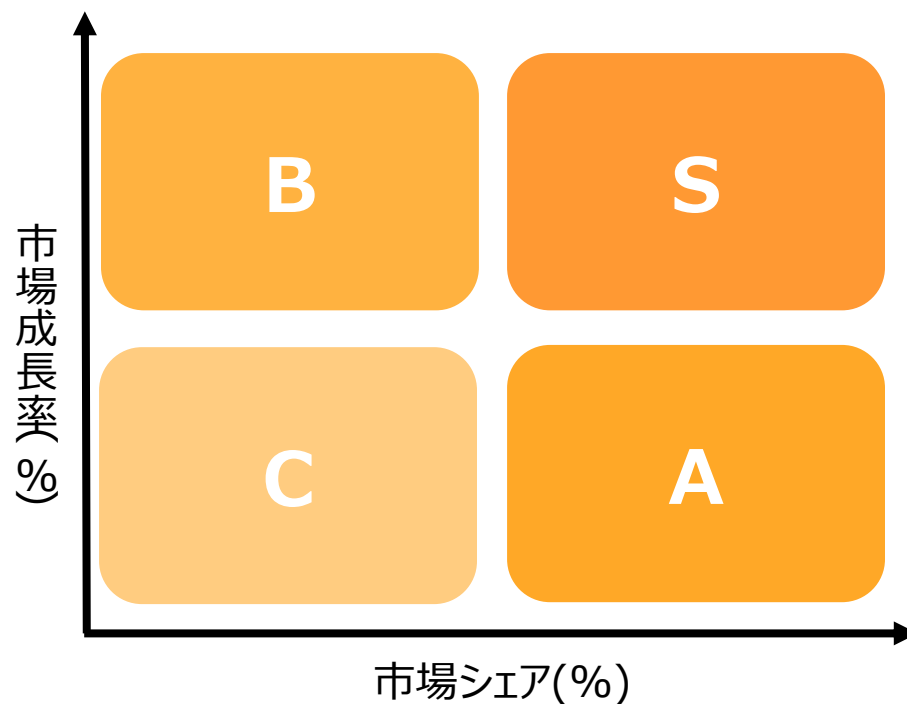


事業ポートフォリオマネジメント

経済価値評価



市場価値評価



ROIC計算式

＜連結貸借対照表＞

科目	年 月 末
資産の部	
流動資産	
…	
…	
有形固定資産	
…	
投資その他の資産	
…	
負債の部	
流動負債	
短期債務	
…	
…	
…	
純資産の部	
株主資本	
…	
…	
純資産の部合計	
負債及び純資産合計	

当社株主に帰属する
当期純利益

ROIC =

投下資本

投下資本 = 純資産 + 有利子負債

※投下資本は、前年度末実績および当年度の各四半期毎の実績または見通しを平均して算出。

2021～2024年度の想定資本コスト：5.5%

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
3. 当資料は「2022年3月期 第2四半期 決算短信」に準拠し作成しています。
差額、比率については百万円単位で計算し、四捨五入しています。

< I R に関するお問い合わせ >

オムロン株式会社

グローバルインベスター & ブランドコミュニケーション本部 IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron-ir@omron.com

Webサイト : www.omron.com/jp/ja/